

アウトスペース (1995)

IT CAME FROM OUTER SPACE II

メディア TVM

ジャンル SF サスペンス

製作国 アメリカ

時間 88分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

古典SFの名作として名高い「イット・ケイム・フロム・アウター・スペース」(53)の42年ぶりの続編、と言いたいところだが中身はまったく前作とは関係ないSF TVムービー。

西部の田舎町を久しぶりに訪れた写真家ジャックは山中で稲妻と共に墜落した隕石状の物体を目撃。やがて町では水が出なくなったり、電力が低下したりと奇妙な出来事が相次ぐ。実は墜落したのは生きてた鉱石とでも呼ぶべき異星生物だったのだ。それは墜落した際に飛散した自分の体を集めるため、住民そっくりの姿に変身し町に潜入して来た。ひとりその事態に気づいたジャックはその生物に協力しようとするが、恐怖を抱く住民たちは山中に出現した隕石状の生物本体を爆破しようとしていた……。

砂漠の町に墜落した敵意なきエイリアンという設定のみが共通項というだけで、何故製作されたのかその意図すらよく判らない凡作。タイトル部分なんかは前作のフィルムをそのまま利用しているにも関わらず、中身はまるで関係無いってのは、どういう事なのだ？ しかも隕石生物の内部に取り込まれた描写が恐ろしくチープ（その辺の空きセットに半透明のテープをぶら下げただけ）で、お寒い限り。円盤の修理が、生物の復元に変更されてるところと、その復元された円盤生物（エイ状のエイリアン）がそのまま飛んでいくというラスト・シーンに少しばかりオリジナリティが見られるぐらいか。何にせよ、同一テーマを扱いながら、半世紀近くも前の作品の方が演出的には遙かに優れていた事を再認識させるだけの作品だ。

【クレジット】

監督	ロジャー・デュコーニー	Roger Duchowny	
製作	ロジャー・デュコーニー	Roger Duchowny	
	トニー・ダウ	Tony Dow	
製作総指揮	シェルドン・ピンチャック	Sheldon Pinchuk	
原作	レイ・ブラッドベリ	Ray Bradbury	
脚本	ジム・ウィート	Jim Wheat	
	ケン・ウィート	Ken Wheat	
オリジナル脚本	ハリー・エセックス	Harry Essex	
撮影	ロバート・C・ニュー	Robert C. New	
編集	マイケル・S・マククリーン	Michael S. McLean	
音楽	シャーリー・ウォーカー	Shirley Walker	
出演	ブライアン・カーウィン	Brian Kerwin	ジャック・プットナム
	エリザベス・ペーニャ	Elizabeth Pena	エレン・フィールズ
	ジョナサン・カーラスコ	Jonathan Carrasco	スティーヴ・フィールズ
	エイドリアン・スパークス	Adrian Sparks	アラン・パクソン
	ビル・マッキーニー	Bill McKinney	ロイ・ミンター
	ディーン・ノリス	Dean Norris	デイヴ・グラント
	ドーン・ジーク	Dawn Zeek	リンダ・グラント

ローレン・テューズ
ミッキー・ジョーンズ

Lauren Tewes
Mickey Jones

キャロリー・ミンター
チャンス・マドソン